

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	学校図書館教育推進事業				シート番号	038-034
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	学校指導	課 評価責任者(課長名)
						後藤

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	学ぶ力・生きる力の育成	無
	2	事業開始年度	平成 19 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	教育基本法、学校図書館法、学習指導要領			
	4	関連計画	堺市教育大綱、第2期未来をつくる堺教育プラン			
5	事業実施の経緯	平成19・20年度、文部科学省の学校図書館支援センター事業を受託し、学校図書館の機能の強化・充実を図るための人材配置を行ってきた。平成21年度に、堺市独自に学校図書館教育支援事業を立ち上げ、児童生徒の豊かな心の育成および自律的、主体的な活動を支える学校教育の中核的な役割を担う場として、学校図書館教育の推進を図り、平成22年度から学校図書館教育推進事業として実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市内全小中学校135校				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	本に親しむことをとおして、豊かな心と自ら学ぶ態度を育成できるよう、児童生徒の読書習慣を定着させる。また、調べ学習などの学習センター機能の充実を図る。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司書教諭を支援する人材として、拠点校(5校)には学校図書館職員、小・中学校には学校司書を配置し、読書センター機能、学習センター機能及び情報センター機能の充実を図る。また、学校図書館サポーターを活用し、開かれた学校図書館の実現をめざす。</li> <li>・小中学生に対して、読書ノートを配布する。</li> <li>・司書教諭及び学校図書館担当者、学校図書館サポーターに対する研修の実施</li> <li>・学校図書館職員・学校司書による小学校巡回訪問の実施</li> <li>・市立図書館と学校教育部の担当者が定期的に小学校の学校図書館を巡回訪問し、授業支援などを行う「学校図書館チーム支援」の実施</li> </ul>				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 有償ボランティア )					

Ⅲ. 投入量

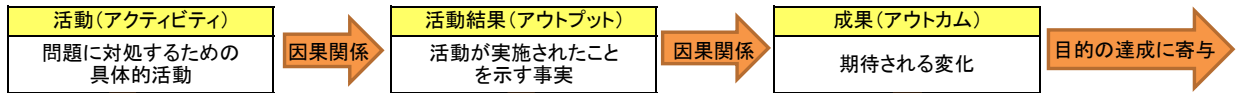
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	66,112	63,377	80,699	74,497	81,500	74,974	91,218	
	主な事業費内訳	学校図書館職員等報酬	千円	31,092	30,906	28,352	28,343	28,440	28,803	43,922
		学校図書サポーター等謝礼金	千円	30,248	29,784	47,830	43,886	47,975	43,546	36,928
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円	10,067	9,928	15,943	11,406	15,991	11,550	12,309
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
その他( )		千円		0		0	0			
	一般財源	千円	56,045	53,449	64,756	63,091	65,509	63,424	78,909	
12	人件費 (b)	千円	3,280	3,280	3,280	3,280	3,240	3,240	3,280	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	69,392	66,657	83,979	77,777	84,740	78,214	94,498	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	学校図書館教育推進事業	シート番号	038-034
-------	-------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)

#### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動実績や成果

		令和元年度実績					
活動実績と成果	14	<p>・中学校に学校司書を配置したことにより環境整備が進み、魅力ある学校図書館となり、利用者が増えている。</p> <p>・学校図書館担当教諭や学校司書を対象に、学校図書館の授業活用について実践を発表することで、学習センター機能としての充実を図った。</p> <p>・絵本士が絵本の魅力を紹介する学校図書館サポーター研修を実施した。</p> <p>・学校図書館職員・学校司書による小学校巡回訪問を実施し、学校の課題に沿った助言を行った。</p> <p>・市立図書館と学校教育担当者が小学校図書館を月に1回程度訪問し、ブックトークを行うなどの授業支援を行った。教員自身が読書への関心が高まり、図書の授業を見直すきっかけとなり、また、学校図書館を利用する児童が増加した。</p> <p>・児童生徒の読書活動推進の取組の一つとして、小中学生に読書ノートを配布した。</p>					
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		「家や図書館で、普段(月～金曜日)1日当たり30分以上読書をしている」と回答した児童生徒数(割合)	人(%)	小6 35.0 中3 25.0	小6 35.0 中3 25.0	小6 35.0 中3 25.0	小6 35.0 中3 25.0
			実績値	小6 2,057(28.8) 中3 1,521(21.9)	小6 2,012(27.0) 中3 1,325(19.4)	小6 2,138(30.0) 中3 1,316(19.9)	
			達成率	小6 82% 中3 88%	小6 77% 中3 78%	小6 86% 中3 80%	
			評価	普通		少し悪い	
		算出方法・設定根拠など	平成28～30年度: 堺市学力調査質問項目より 令和元年度: 全国学力・学習状況調査質問項目より				
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		学校図書館来館者数	人	60,000	61,000	62,000	120,000
			実績値	60,341	83,474	74,090	
			達成率	101%	137%	120%	
			評価	良い	大変良い	大変良い	
		算出方法・設定根拠など	中学校学校図書館司書からの報告書 平成29年度から実施(4月から10月) ※令和2年度より、年間来館者数に変更				

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	「家や図書館で、普段(月～金曜日)1日当たり30分以上読書をしている」と回答した児童の人数	人	2,057	2,012	2,138	
	②	上記①にかかる年間経費	千円	66,657	77,777	78,214	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	32,405	38,657	36,583	
	備考(算出についての説明等)						
18			区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①	学校図書館来館者数	人	60,341	83,474	74,090	
	②	上記①にかかる年間経費	千円	66,657	77,777	78,214	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	1,105	932	1,056	
備考(算出についての説明等)							

#### 業績の分析

19	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>平成29年度から中学校に学校司書を配置したことにより、いつでも人がいる開かれた学校図書館となったため、生徒の利用が増えた。しかし、読書習慣の定着までは至っておらず、家庭で読書をしている児童生徒の割合が増加していないことが課題である。また、一方で、家庭で過ごす時間の中で、SNSや動画を見る時間が年々増加している。今後も読書が好きな児童生徒を増やすとともに、保護者への啓発を行い、読書習慣を定着させる工夫が必要である。</p>
----	--

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	学校図書館教育推進事業	シート番号	038-034
-------	-------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 →  確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 学習指導要領解説（総則）において、「学校図書館は学校教育において欠くことのできないも基礎的な整備であり、読書センター・学習センター・情報センターとしての機能を有し、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に資する役割が一層期待されている」とある。教育のうえで、本事業の果たす役割は大きい。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 休止した場合、学校図書館の環境整備に従事する人材がいなくなる。学校図書館は教育活動の中で欠かせないもので、児童・生徒の学びに大いに影響すると考えられる。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 堺市がめざす『いつでも「開いている・使える・人がいる」学校図書館』にするには、人的支援が欠かせない。現状では、学校司書が中学校には週に2日、小学校には週1日勤務である。他の日は学校図書館サポーターの協力を得て開館をしているが、これらのコストを縮減することはできない。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 研修では、分散して数回に分けて研修を行う。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( ) 関連事業名 ( ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> その他(市立図書館連携の推進)	理由・説明 ・1校あたりの学校司書勤務時間は、他の政令市よりも短い。学校図書館教育の充実を推進するためには、小学校への学校司書配置を拡充し、改善を図る。 ・研修等で堺市立図書館との連携を深め、学校司書の人材育成を進める。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 中学校においては、平成29年度に週2日勤務の学校司書の配置し、学校図書館の環境整備が進んだことで開館日数や利用者数が増加している。 小学校においては、今年度より週1日勤務の学校司書が配置された。しかし、学校図書館の充実を推進し、中学校と同様の効果を得られるには、週1日勤務ではできることが限られている。また、他の政令市と比較しても、本市は1校あたりの勤務時間が短い。令和2年度、週2日勤務へと学校司書の拡充をめざす。		